◎向日市民憲章◎
1 住みよいまちを力を合わせつくりましょう
1 きれいな緑と水と空を守りましょう
1 働くよろこびと心のふれあいを大切にしましょう
1 すぐれた教育と文化を育てましょう
1 明るいくらしと福祉のまちをきずきましょう

広報向日市

No.300

昭和５８年３月１５日

◎発行　向日市役所(京都府向日市寺戸町中野20)
◎編集　秘書広報課　◎電話　075(931)1111

58年度予算案

総額122億5千万円に

財源の重点的・効率的な配分を徹底

昭和五十八年度の予算案がまとまり、七日から開会されている三月定例市議会に提案されています。

予算案総額は百二十二億五千七百二十万一千円で、四月に市長選挙を控えているため、骨格予算編成となっています。

予算規模

昭和五十八年度当初予算案の規模は、一般会計七十一億一千百万円、国民健康保険事業特別会計十二億三千七百五十万六千円、老人保健医療特別会計十三億三千七百九十七万円、下水道事業特別会計九億七千六百十万円、農業共済事業特別会計千百三十四万円、水道事業会計十五億八千三百二十八万五千円、あわせて百二十二億五千七百二十万一千円となりました。

この結果、前年度当初予算に比べ、一般会計で六億六千七百万、八・六パーセントの減。総額で約五億九千百万円、五・一パーセントの増となっています。

一般会計

次に主な事業について説明しましょう。

■民生費

現行の福祉水準を維持するとともに、新しい施策も盛り込み、市民福祉の一層の充実を図ります。

特に老人福祉については老人保健法の施行に伴い、老人医療見舞金支給制度・重度心身障害老人健康管理助成事業を設置。

児童福祉についても、交通遺児奨学基金の新設に伴い、交通遺児に対する奨学金を五割増額支給します。

■衛生費

市民の健康を守り高める施策の拠点として新設した保健センターにおいて、各種検診・相談に加えて、成人病対策として肥満教室や健康体操教室を開設するなど、きめ細かな事業を新しく実施します。

■土木費

都市計画街路、久世北茶屋線の整備や市道の改良整備、交通安全対策事業などを進めます。

■教育費

生涯教育の場として公民館講座や教室の充実や市民スポーツの振興を図るためスポーツ教室や各種スポーツ大会の充実に努めます。

また、市立図書館を昭和五十九年秋のオープンをめざして、京都府の埋蔵文化財調査研究センターと併設して建設することとしています。

■総務費

向日市史上巻にひきつづき、下巻の発刊を予定しています。

■その他

水田利用再編対策や米の消費拡大の推進、また地元企業の育成と消費者保護を進めます。

特別会計

国保会計

老人保健法の施行に伴い老人の医療給付が老人保健医療特別会計から支払われるようになったことなどにより、昭和五十七年度の決算は、若干の黒字が見込まれます。したがって、昭和五十八年度においては、保険料の改定は行わないことを基本として予算案を編成しました。

老人保健医療会計

老人保健法が本年二月から施行されたことに伴い、六十五歳から六十九歳までの重度障害者などの老人を含む七十歳以上の全老人に係る医療の給付に必要な経費を計上しました。

下水道会計

清潔で文化的なまちづくりの基幹となる事業として幹線の整備および面的整備の促進・拡充を図り、水洗便所の普及率の向上に努めていきます。

農業共済会計

農業経営における不慮の事故により受ける損失に対し補償し、農業経営の安定と農業生産力の発展のために予算化しています。

企業会計

水道会計

市民の方に、安定した水の供給ができるよう、昭和五十六年度から四か年継続事業である第八次拡張事業も三年目を迎え、この夏に一部通水ができるよう工事を進めていきます。

予算編成方針

市長選挙控えて骨格予算

昭和五十八年度のわが国経済は、資源・エネルギー問題をはじめ、世界的な経済の停滞と欧米諸国との貿易摩擦など不安定で流動的な国際経済情勢のなかで、景気の低迷、設備投資の減退など予断を許さない状況にあります。

また、五十八年度の国の予算は、巨額の特例公債に依存する財政体質を改善し、財政の再建をめざして経費の徹底した節減合理化を行い、伸び率の低い超緊縮予算となっています。

一方、国の地方財政計画においても、地方財政が巨額の財源不足の状態に置かれている上に、今後とも税の大幅な増収が期待できない情勢から行政全般にわたる合理化と財源の重点的、効率的な配分に徹し、節度ある財政運営によって住民福祉の確保に努めるべきであるとしています。

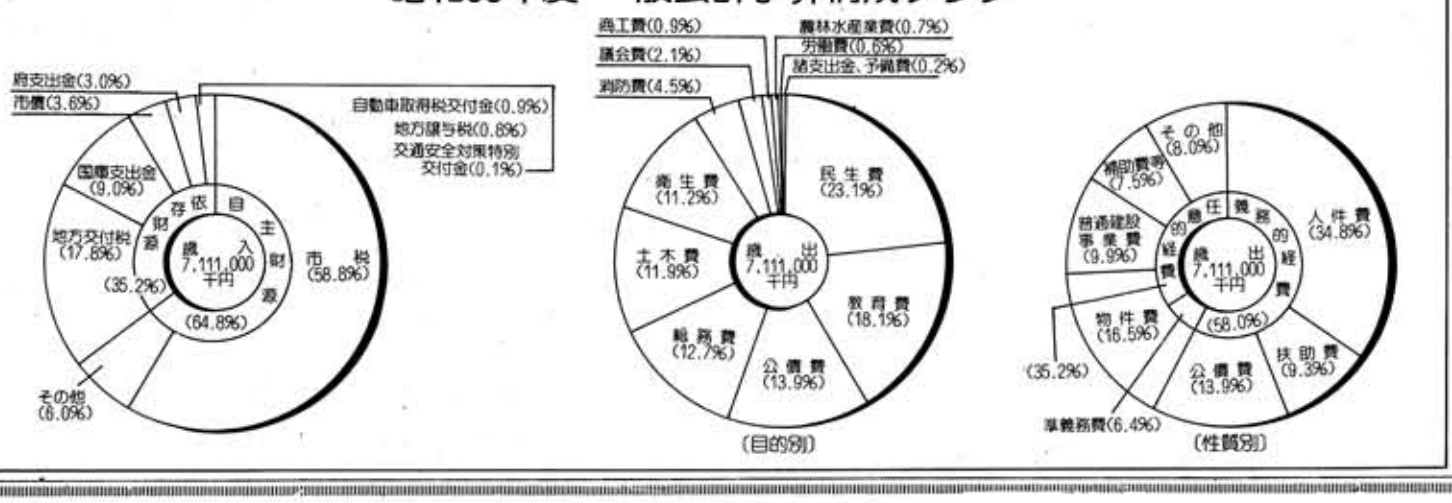
こうした厳しい財政環境において、本市の五十八年度の予算編成にあたっては来る四月に市長選挙をひかえているため骨格予算としました。

まず、人件費・扶助費等義務的経費および施設運営費、その他既定の事務事業の執行に要する経常経費の年間必要額を計上しました。

また、投資的経費、政策的経費にあっては、継続的な事業、急施を要する事業のみを計上しました。

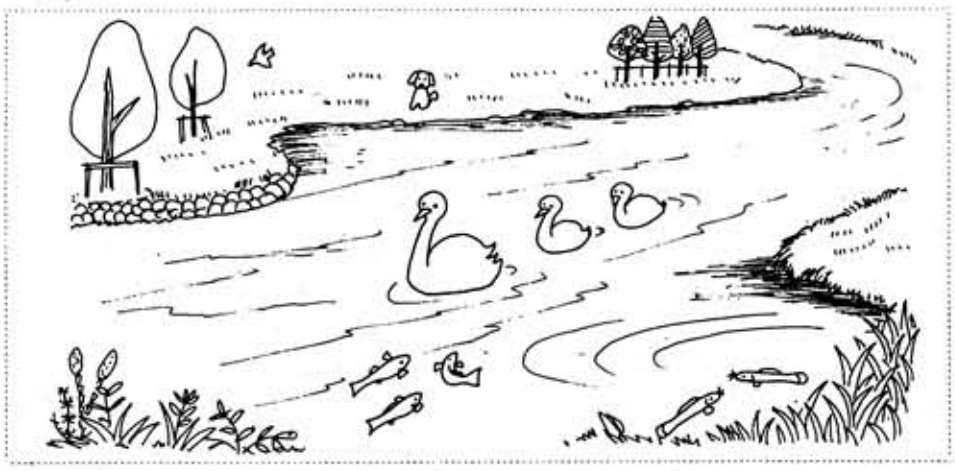
このように、当初予算は骨格予算編成ではありますが、現在の厳しい社会経済情勢を十分に認識して、一般行政的経費のうち、物件費を前年度当初予算額より五パーセント削減、圧縮するなど、住民サービスを低下させないよう、財源の重点的配分と効率的執行をさらに徹底させ、最少の経費で最大の効果を図るよう留意した次第です。

昭和58年度 一般会計予算構成グラフ



“郷土の川を美しく„

川はかけがえのない私たちの大切な財産です。その町を流れる川の美しさによって人びとの自然を愛する心がはかれるといわれます。

今、川に美しい流れをとりもどすために、私たちひとりひとりの協力と川をきれいにする日ごろの心がけが、ぜひとも必要です。さあ！私たちの手で郷土の川をいつまでも美しく守りましょう。

■ 向日市　川を美しくする会 ■